

## 日本郵船歴史博物館

### 2017年夏休みキッズイベント

#### 「ポンポン船をつくろう！」

実施日：①平成29年6月23日（金）※企画、事前打ち合わせ  
②平成29年7月23日（日）※イベント実施（1回目）  
③平成29年7月29日（土）※イベント実施（2回目）



#### 【事業の内容・目的】

- 「みなと横浜」の海事系博物館ならではの視点から、次世代を担う子どもたちに海運や船舶への理解と関心を深めてもらうため、親子で参加するワークショップを実施した。
- 工作物件を地域のシンボル“氷川丸”をモチーフとしたことで「地域ならではの」、「日本郵船ならではの」ストーリーから海洋教育の一環として活動が実践できた。
- 近代日本海運の黎明期から今日に至る「日本郵船」の歴史と役割を知ってもらう機会にもなった。
- 船の科学館「海の学びミュージアムサポート」情報・ノウハウサポートを活用して企画・実施した。

## 活動の様子

### 1. 企画、事前打ち合わせ（情報・ノウハウサポート活用）

【開催日時】平成29年6月23日（金）14:30～15:30  
平成29年7月23日（日）11:00～12:00

【開催場所】日本郵船歴史博物館 オリエンテーションルーム

【参加者数】日本郵船歴史博物館：4人、 船の科学館：2人

【活動内容・目的】

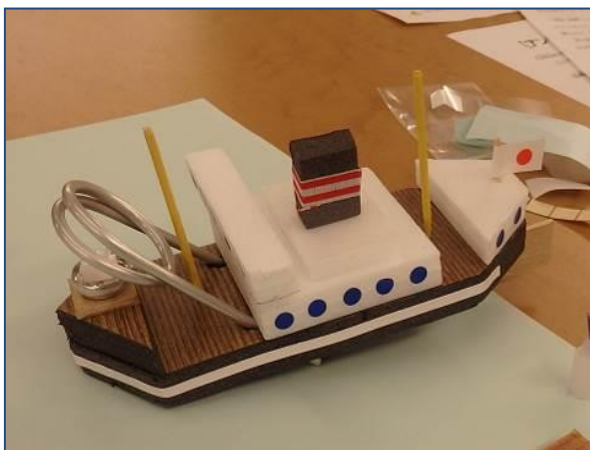
- 海事系博物館ならではの「海洋教育」の実践に向けた企画、打ち合わせを実施した。
- 「海洋教育」の一環として実施するイベント内での解説内容について、情報・ノウハウサポートを受けながら共同で検討した。
  - ・テーマ：「海運」、「港湾」、「船舶」、「氷川丸」、「日本郵船」、「観光」
- ワークショップ実践に向けた船の科学館スタッフによるレクチャーを実施した。
  - ・各パーツの製作手順、組み立て手順、実験走行の手順説明



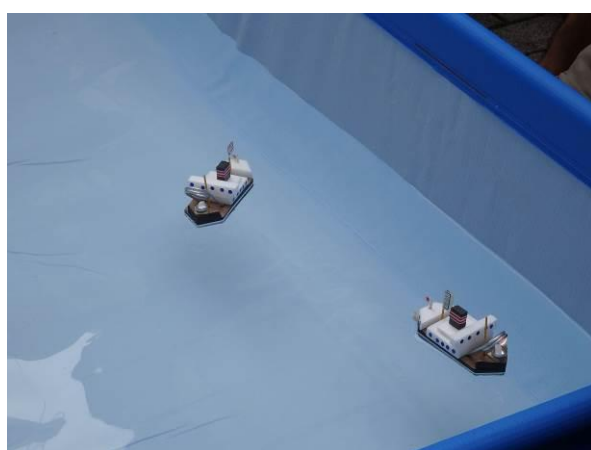
担当者による企画、実施に向けた事前打ち合わせ



使用資材の調達方法・工作方法の説明



ポンポン船（氷川丸バージョン）の完成見本



実際に工作した後、走らせ方や注意点を確認



## 2. 2017年夏休みキッズイベント

### 「ポンポン船をつくろう！」

【開催日時】平成29年7月23日（日）14:00～15:30

【開催場所】日本郵船歴史博物館 オリエンテーションルーム

【参加者数】17人(小学生)+19人(ご家族)

【活動内容・目的】

- 「ポンポン船」を製作し、実験走行させることで親子で楽しみながら学べる場とした。
- 「海洋教育」の一環として海運、船舶をテーマとした解説を実施した。
- イベント内での解説では「海運、船舶、船舶の動力」などをわかりやすく説明することで地域の港や船舶の働きについて、興味・関心を持ってもらう機会とした。
- プログラム
  - ・「海運、船舶についての解説」：船の科学館スタッフ
  - ・「“氷川丸”と日本郵船について」：日本郵船歴史博物館スタッフ
  - ・「ポンポン船をつくろう！」：船の科学館スタッフ
- 今回は、プログラムのプロトタイプとして「船の科学館」との共同で開催した。



「海運」の重要性についての解説



「氷川丸」についての解説



「ポンポン船“氷川丸”」工作の様子



完成模型と記念撮影



完成模型を実験プールで走行実験



完成したポンポン船“氷川丸”と記念撮影

暑い夏は水を使ったイベントが大好評ということもあり、ローソクに火をつけて走りだしたポンポン船を子どもも大人も夢中になって見守りました。今回は日本郵船の“氷川丸”を題材とした工作教室でしたが、島国日本の生活は船舶による物流が支えている事や日本郵船がその役割を担っていることを、子供向けの工作を通じて意識出来る機会を創出することができました。

### 【来館者の声】

- 船で運ばれてきている割合が良く分かりました。
- ちゃんと動いたのでよかったと思いました。そして、船ではこんでいるのが99.7%だったのでびっくりしました。
- ポンポン船の仕組みが分かりました。もう少し大きい場所で走らせてみたいです。
- プールで泳がせてすごく進んで楽しく、来年もきたいです！



### 3. 2017年夏休みキッズイベント

#### 「ポンポン船をつくろう！」

【開催日時】平成29年7月29日（土）14：00～15：30

【開催場所】日本郵船歴史博物館 オリエンテーションルーム

【参加者数】18人(小学生)+17人(ご家族)

【活動内容・目的】

- 今回は、当館オリジナルプログラムとして実施した。
- 海運、船舶をテーマとした解説を前回の船の科学館が製作した資料を活用して実施した。
- イベント内での解説では「海運、船舶、船舶の動力」などをわかりやすく説明することで地域の港や船舶の働きについて、興味・関心を持ってもらう機会とした。
- 「ポンポン船」を製作し、実験走行させることで親子で楽しみながら学べる場とした。  
※工作については、船の科学館スタッフのサポートを受けて実施した。



日本の海運についてクイズ形式で解説



高学年の子ども達は細かい作業も自力で頑張り、低学年の子ども達は保護者と一緒に完成を目指します。



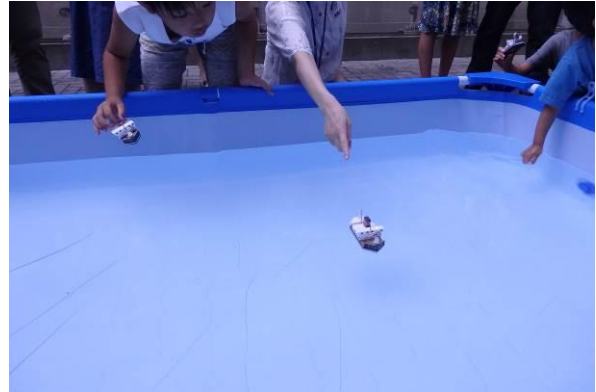
見本展示の様々な船のポンポン船に興味津々



完成したポンポン船“氷川丸”に大満足！



参加者自らポンポン船の動力に水を注水



自分で作った船が走る様子を見守る子ども達

### 【来館者の声】

- 船や貿易についても楽しく学ぶことができ、身近に感じられました。
- ふねをつくるのがたのしかったです。
- 今日は楽しかったです。何回も使えるのでお風呂でも使いたいです。本日はありがとうございました。

### 【事業全体のまとめ】

- ・広く「海運、船舶」をテーマとする海洋教育の実施から、結果的に「日本郵船」及び“氷川丸”を知るストーリーを実施できた。
- ・他施設から博物館活動の基本ノウハウを活用して、当館ならではのプログラムを構成するケースが実践できた。
- ・当館での博物館活動はほとんどが、「海洋教育」の一環として実践できることを再認識できた。

### 主な連携・協力先について

連携・協力先名称	連携・協力の内容
1. 船の科学館	海洋教育の実践に係る共同企画

### 主な広報結果について

掲載媒体名	見出し、掲載日
1. 第17回かながわサイエンスサマー	2017年6月20日発送/神奈川県
2. A4チラシ「夏休みキッズイベント」	2017年6月中旬発送
3. 歴史博物館 web サイト	2017年6月中旬開始

以上